

令和5年度（2023）事業計画

2023年度は、当協会が1993年に活動を開始し30年目の節目の年となり、様々な30周年記念事業を実施する。当協会のこれまでの歩み、日本の免震・制振構造の歩みを整理し社会に発信するとともに、これからの更なる発展に向けての契機とする。また、免震・制振構造の普及、更なる発展を目指して、会員への支援、その他協会の事業目的達成のために必要な事業等を本年度も継続して活動する。

免震構造の更なる普及促進を目的として、免震建物普及推進委員会を特別委員会として発足させ、新設計法の検討を行うとともに、社会一般に免震構造の良さを知らしめる方策を検討する。

また、会議の開催方法については、昨年度まで、新型コロナウイルス感染症対応を最優先とし、原則Web会議としてきたが、本年度は社会情勢を見ながら、対面での会議と対面とWebの併用会議を増やし、会員同士がコミュニケーションをとれる場をより多く設けることとする。

2023年度は、下記のように事業計画を策定する。

1.免震・制振建築物の技術に関する調査研究事業

[免震設計部会、耐風設計部会、免震部材部会、制振構造設計部会、防耐火部会、施工部会]

- 1) 地震・風外力と建物の応答特性評価に関する調査研究、技術基準の整備に関する事業の実施
- 2) 免震・制振部材の特性評価に関する調査研究及び技術基準の整備に関する事業の実施
- 3) 免震部材取り付け部に関する力学特性の検討及び合理化・標準化の検討の実施
- 4) 「耐風設計指針 2023」の出版・講習会の開催
- 5) 津波波力を受ける免震構造物の挙動検討、免震建物が津波・水害を受けた際の特性評価と継続使用に関する検討
- 6) 「パッシブ制振マニュアル(第4版)」の出版および講習会の開催
- 7) トルコ・シリア地震調査の実施

2.免震・制振建築物に関する普及啓発事業

[普及委員会、教育普及部会、出版部会、ホームページ検討部会、社会環境部会、免震建物普及推進委員会]

- 1) 日本各地の設計事務所の免震・制振構造設計参入への支援（講習会の実施、相談窓口の設置）
- 2) 免震建物の普及へ向けの方策の検討
- 3) 新免震設計法の検討及び新免震設計ルートの検討
- 4) HP／新規コンテンツおよび機能追加の検討、英語版ホームページの改訂計画の検討及び実施
- 5) 協会出版物、シンポジウム資料などをアーカイブ資料としてHP上で公開
- 6) 免震構造がSDGsにどのように貢献できるかを検証し、免震構造協会としてのSDGsへの取り組みを発信する
- 7) 毎月1回のニュースレター送信、会誌MENSHIN電子ブックの普及活動

3.専門技術者認定事業 [資格制度委員会、維持管理委員会、施工部会]

- 1) 免震部建築施工管理技術者講習・試験、更新講習会の実施
- 2) 免震建物点検技術者講習・試験、更新講習会の実施
- 3) 設計・施工・維持管理等各分野の専門技術者向け技術の啓発
- 4) 維持管理点検の重要性を社会に認知させ、すべての免震構造が適切に維持管理される仕組み造りの検討

4.免震・制振構造に関する国際交流事業 [国際委員会、海外展開部会]

- 1) 海外の免震・制振構造に関する情報収集と海外への英文による情報発信
- 2) 設計事例に関する英語データシートの作成など、英語 Web サイトの充実
- 3) 設計・施工・維持管理に関する国際ガイドラインの作成、免震構造設計 ISO 基準の策定支援
- 4) 海外との免震・制振に関する国際シンポジウム、セミナー・展示会等の開催

5.会誌、免震・制振構造に関する図書刊行事業

[出版部会、技術委員会、維持管理委員会]

- 1) 「会誌 MENSIN」の刊行
- 2) 「耐風設計指針 2023」の刊行
- 3) 「パッシブ制振マニュアル（第4版）」の刊行
- 4) 「わかる！免震建築」～ここから広がる安全・安心～
- 5) 「免震部材標準品リスト 2023」の刊行
- 6) 「震災の国への処方箋」-免震建築の計画からディテールまで- 英語版の刊行
- 7) 「免震によるレジリエントな都市の実現を目指して」
- 8) Web サイトでの書籍販売の促進、電子書籍の検討
- 9) 英語版電子書籍化の推進

6.免震・制振建築物に関する評価・評定事業

[性能評価委員会、評定委員会、制振構造部会、免震設計部会]

- 1) 構造・材料の性能評価事業の実施
- 2) 構造・材料・耐火の性能評定事業の実施

7.免震・制振建築物に関する技術・作品等の助成・表彰事業

[研究助成審査委員会、修士論文賞審査委員会、表彰委員会]

- 1) 研究助成の実施（大振幅地震動と免震・制振構造に関する研究等）
- 2) 技術・作品・普及・業績等の顕彰、優秀修士論文の顕彰の実施

8. 創立 30 周年記念事業 [創立 30 周年・関東地震 100 年委員会、普及委員会、国際委員会]

- 1) 記念講演会の実施、記念功労表彰式
- 2) 講演見学会の実施
- 3) アイデアコンペの実施
- 4) 一般向けの免震アプリの公開
- 5) Web 形式の国際シンポジウム開催
- 6) 記念会史の発行
- 7) 第 16 回日本地震工学シンポジウムへの参画

9.会員への支援事業 [運営会議]

- 1) 新規事業の提案
- 2) 地方会員の支援（Web 会議等ネット利用による距離の克服）
- 3) 会員の増強